

ビジョントレーニングがバージョンアップ!

スープリュームビジョン設置!

ルールを覚えて
赤く光るボタンを
プッシュ!

スコアが出るので
何度も挑戦したく
なります!

スープリュームビジョン

<設定プログラム>

1. 目と手の協応
2. 眼球運動
3. 周辺値
4. 動体視力
5. 瞬間視
6. 数字押し
7. メモリー
8. ナンバーズ
9. 視野チェック
10. 反応チェック
11. 認識チェック

数値計測で 成長を実感!

11種類のプログラム
と多様なパターン(点
滅する時間の間隔)で
個人に合わせた
トレーニングが可能
です!

情報の入り口、それは「眼」です

認知(目)・判断(脳)・動作(体)

視野を鍛えて 危険の察知や判断力を向上させる

・・・ビジョントレーニングの効果・・・

武庫が丘校・三田本町校の各事業所に設置!

眼と体を動かすことにより 脳が活性化し
集中力、学習、運動、コミュニケーション等
生活の中で、必要な力が向上していきます。

◎ご利用時間に毎回行うことで、
効果的なビジョントレーニングが行えます。



スープリュームビジョンの子どもたちの様子

スープリュームビジョンを使って、毎日、目のトレーニングをする子どもたちです。



三田本町校



武庫が丘校

子どもたちの声

★ 最初、ドキドキしたけど、うまくタッチできてうれしかった！

★ 点数が出るから、おもしろい！ 100まで頑張る！

★ 光る数字を見つけるのが、だんだん早くなって、タッチも早く
★ なってきたから、うれしい！

★ 集中すればするほど、スコアが上がるんだよ！



担当講師の感想

トレーニングを始めた頃に比べ、どの子もスコアが上がってきました。
見える範囲が広がり、目もよく動くようになってきたことが、よくわかります。

トレーニング中は、自然に背筋が伸びて、体も大きく動かしています。
姿勢が安定することで、余裕が生まれ、より見やすくなるようです。

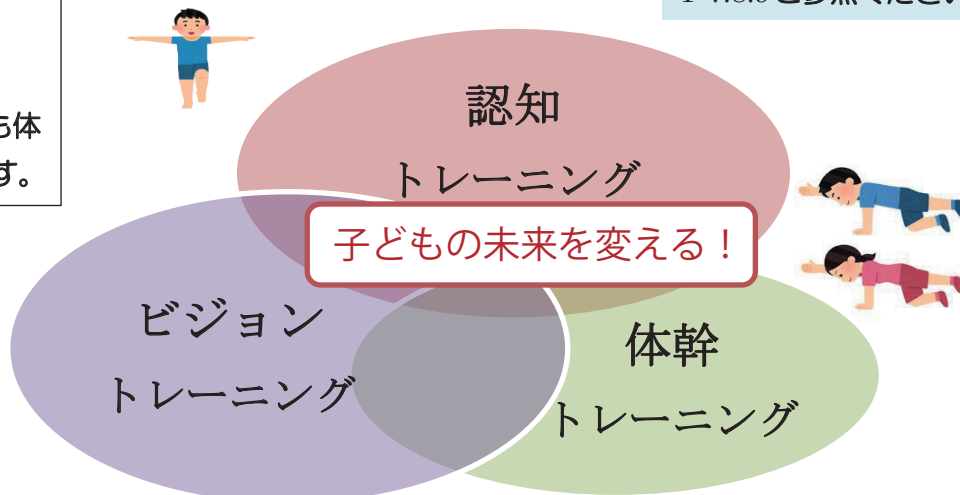
目がスムーズに動くようになることで、教科書が読みやすくなる、黒板やドリルを楽に写せるようになるなどの、学習面への影響も期待できますね。



《スリー3トレーニング》(ビジョン認知・体幹トレーニング)

P 7.8.9 ご参照ください。

《スリー3トレーニング》によって
目だけにとどまらず、脳（頭）も体
（運動機能）も鍛えられるのです。



子どもの「できた！」という喜ぶ笑顔をめざし、自己肯定感を高めていきます

《スリー3トレーニング》(ビジョン認知・体幹トレーニング)で期待できる効果

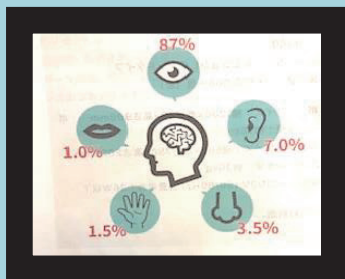
動体視力

視野の広がり

目と手の協調

判断力

《脳は目からの情報を欲している》



人はあらゆる情報を「五感」（聴覚・触覚・嗅覚・味覚・視覚）から取得しています。
視覚情報は、この知覚のうち情報能力の87%を占めていることや、脳神経が12本のうち、6本が目の神経ということからも、脳が目からの情報をどれだけ欲しているかがわかります。

Senoh の HP より出典

学習面や運動面で困難さのあるお子さま

「目の使い方」や「視覚認識の仕方」が原因である場合があります。



障害をもつ子どもたちのなかには、近年、知的障害が見られないのに、学習障害・運動障害の子どもたちがいます。そうした子どもたちは、まわりから理解されず困っていることが多いのです。

「見えにくい」ことに加えて「わからない」こと「体が動かない」ことで、自信喪失や自己肯定感の低下もひどくなっていきます。目だけではなく心の問題にもなってしまいます。

「ビジョントレーニング」「認知トレーニング」「体幹トレーニング」の《スリー3トレーニング》を受けることによって改善されていきます。自宅でも1日数分でもよいですから、毎日継続して行うことがポイントです。

ビジョントレーニングとは、
目が本来持っている力を向上させるトレーニングのことです。

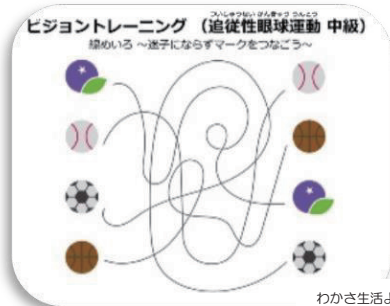
「ものを見る力」＝ビジョ~~ン~~の機能

1. 両目を使って、遠くのものや動いているものなどをしっかり捉える「情報を取り入れる機能」
2. 目で見た視覚情報を処理し、記憶したり、体を動かしたりする「情報から行動に移す機能」

ユニバーサルスクール専門講師

ビジョントレーニングは、欧米諸国では80年以上も前から歴史があり、子どもの注意欠陥多動性障害(ADHD)や学習障害(LD)・読み書き障害(ディスレクシア)発達に課題がある子どもたちの改善・克服などに活用され取り組まれている発達支援の実践プログラムです。

ユニバーサルスクールでは、「ビジョン」「認知」「体幹」の《3トレーニング》を受けて頂いて、実際に発達に課題がある子どもたちの改善につながっています。



わかさ生活より出典

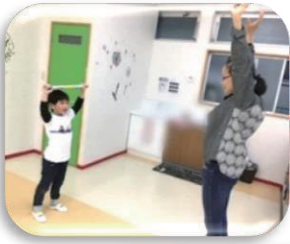
同じマーク同士を結ぶ ぐにゃぐにゃと曲がった線を、目で追いかける運動（追従性眼球運動）



効果

目と体を動かすことによって脳が活性化し、学習、運動、コミュニケーション等生活の中で必要な力が向上していきます。

身体をうまく使うために「筋力調整」「注意力」「集中力」
「動作の予測」「記憶力」等の機能を高めます。



コグトレ研究会横浜支部より出典

ユニバーサルスクール専門講師

身体的不器用さのため、
運動や手先がうまく使え
ないだけでなく、自尊心
の低下や周囲からのイジ
メの原因となることも報
告されています。

効果

継続的に取り組むことで認知機能が大きく改善し、学習や運動面で「できる、できた」
「やった、やれた」という達成感を味わうことで、笑顔とやる気を取り戻すことがで

- ★足指から体全体をストレッチしでランスを整え体幹を鍛えていきます。
- ★ストレッチと腹式呼吸で筋肉の柔軟性を高め、道具を使って筋肉を強くしていきます

ユニバーサルスクール専門講師



効果

- ・体幹をしっかりさせていくことで、体のバランスを運動能力を高めていきます。
- ・けがの予防やストレスの軽減、血行促進を促し、心の安定感へとつなげていき

ビジョントレーニングのチェックリスト ☒

ユニバーサルスクールで**チェックリストの確認**をします。

見る

- ☐ 読むのが遅い。
- ☐ 読んでいるとき、行や列を読み飛ばしたり、繰り返し読んだりする。
- ☐ 指で文字をたどりながら読むと読みやすい。
- ☐ 長い／短い、大きい／小さいを比べて判断するのが難しい。
- ☐ 物がぼやけたり、二重に見えたりする。
- ☐ 字の形を覚えることや図形の問題が苦手。



書く

- ☐ 板書が苦手。(黒板に書かれてある文字を写すこと)
- ☐ 文字を書くと形がくずれる。
- ☐ 鏡文字がある。
- ☐ 数字が斜めになる。
- ☐ マス目や行に納められない。
- ☐ 筆圧が弱い。



運動

- ☐ 方向感覚が弱い。
- ☐ 飛んでくるボールを受けるのが苦手
- ☐ 距離を判断するのが苦手(自分から壁まで等の距離)
- ☐ つまずいたり、モノや人にぶつかったりすることが多い。
- ☐ 動作がぎこちない。

